

お買い上げいただき、誠にありがとうございます。取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。ご使用前にパッケージ中折面の“安全に関して及び保証規定”を必ずお読みください。

取扱説明書・パッケージとご購入日がわかるレシート、販売証明書、伝票等を一緒に保管してください。

315MHz帯 特定小電力 ID方式

ワイヤレス

配線不要

要保存

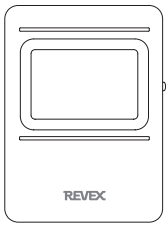
品番 LCW60

人感チャイム^{セット} 取扱説明書

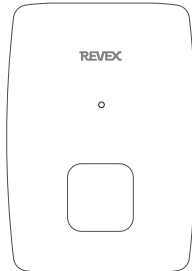
※電池は付属していません。ご使用になる前に受信チャイム用の単3形アルカリ乾電池3本と、送信機用の単4形アルカリ乾電池3本を別途お買い求めください。
※電波の飛距離は屋外見通し最大100mですが、送信機・受信機の設置環境により短くなります。

重要なお知らせ

- 本製品は連絡・報知用であり、生命救助、事故・犯罪防止を目的とする機器ではありません。死亡、障害、盗難、強盗、犯罪、滅失、毀損、損失などの被害における責任は負いかねますので予めご了承ください。
- 本製品は総務省、電波法技術基準適合品です。総務省の許可なしに改造して使用すると、法律により罰せられます。
- 本製品は心臓ペースメーカーや特殊な医療機器には影響しませんが、安全管理のため送信機を対象機器から50cm以上離してご使用ください。
- 本製品を使用する際は、パッケージ中折面の【安全上のご注意】、【使用上のご注意】をよくお読みください。
- 本製品の保証に関しては、パッケージ中折面の【保証規定】をよくお読みください。



人感センサー送信機

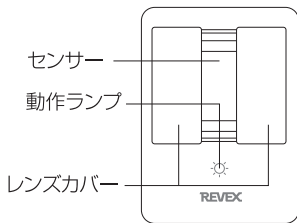


受信チャイム

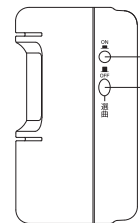
1.各部の名称と説明

■人感センサー送信機

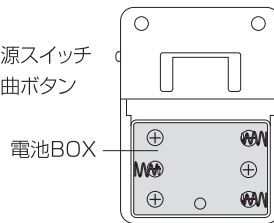
●本体正面



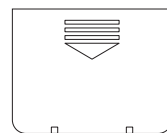
●本体側面



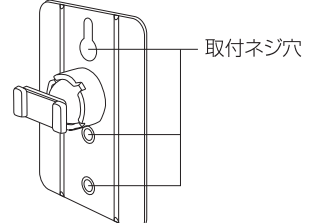
●本体背面 (電池BOXフタを開けた状態)



●電池BOXフタ

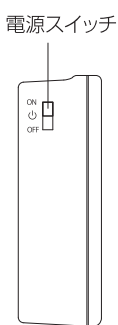


●壁面マウント



■受信チャイム

●本体側面

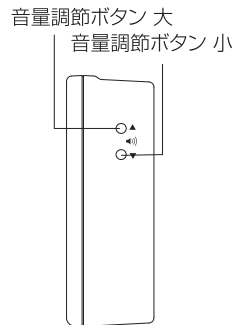


●本体正面

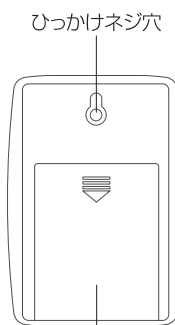


スピーカー

●本体側面

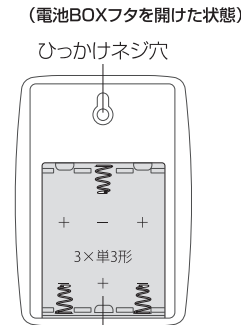


●本体背面



電池BOXフタ

●本体背面



電池BOX

■付属品

※電池BOX内またはパッケージ内に入っています。

人感センサー送信機用

- レンズフード×2
- 壁面マウント×1
- 取付用 両面テープ×1
- 取付用 ネジ×2

受信チャイム用

- 取付用 ネジ×1

共通

取扱説明書

2.使用する前に

本製品は送信機と受信機が予め登録されておりますのでそのままご使用いただけます。

しかし、ごく稀に登録がされていない場合や、センサーが動作しないのにチャイムが鳴る場合は下記手順に従い、ご登録ください。

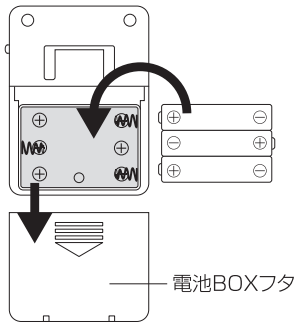
- ①受信チャイムの「音量調節ボタン」[▲] (大)と「▼」 (小)を同時に押しながら電源スイッチをONにすると動作ランプが数回点滅してから点灯になり、ボタンから手を離すと消えます。
- ②人感センサー送信機の選曲ボタンを約10秒長押しすると、動作ランプが点灯して消え、その後数回点滅してから消えます。
- ③受信チャイムの電源スイッチをONにして、音量調節ボタン[▲] (大)と「▼」 (小)を同時に押すと動作ランプが点滅します。点滅している間 (約20秒) に、人感センサー送信機に手をかざして反応させると、動作ランプが数回早い点滅になり、点灯してから消えます。
- ④動作を確認して正常に動作すれば登録完了です。

3.使用方法

用意する物 新品単4形アルカリ乾電池3本、新品単3形アルカリ乾電池3本、(+)ドライバー(ネジで取り付けする場合)

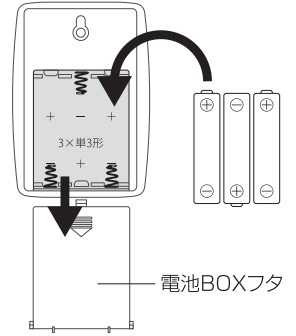
■人感センサー送信機

- 1 本体背面の「電池BOXフタ」を下にスライドして、「電池BOXフタ」を開けます。
- 2 新品の単4形アルカリ乾電池3本を ⊕ ⊖ の向きを間違えないように入れます。
- 3 「電池BOXフタ」を閉めます。



■受信チャイム

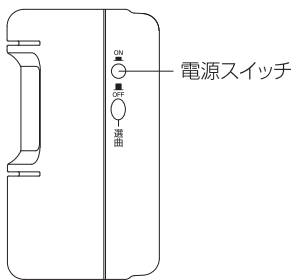
- 4 本体背面の「電池BOXフタ」を下にスライドして、「電池BOXフタ」を開けます。
- 5 新品の単3形アルカリ乾電池3本を ⊕ ⊖ の向きを間違えないように入れます。
- 6 「電池BOXフタ」を閉めます。



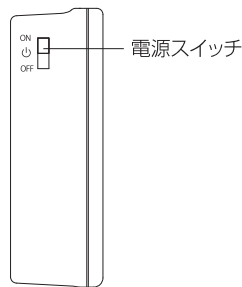
■人感センサー送信機と受信チャイム

- 7 人感センサー送信機と受信チャイムの「電源スイッチ」をONにします。

人感センサー送信機・本体側面



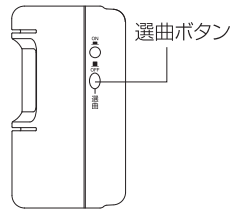
受信チャイム・本体側面



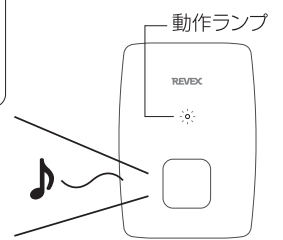
- 8 音の選曲をします。

人感センサー送信機の「選曲ボタン」を押すと、受信チャイムの「動作ランプ」が光り音が鳴ります。音が鳴り終わったら、もう一度選曲ボタンを押すと、チャイム音や曲が変わります。3種類ありますので、「音の種類」の表を参考に選びます。使いたい音が鳴りましたら、選曲完了です。

人感センサー送信機・本体側面



受信チャイム



音の種類

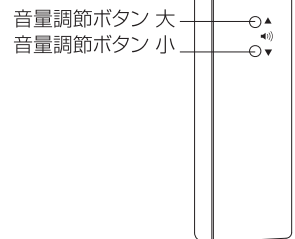
音の順序と名前	音と光の長さ(約)	音の大きさ(1m・最大)
1.ピンポン	5秒	80 dB
2.ピンポンパンポン	10秒	82 dB
3.エリーゼのために	12秒	83 dB

※1度押して音が鳴らなかった時は、何らかの電波状況により受信チャイムが受信できなかったためです。この時はもう1度「選曲ボタン」を押すと次の音が鳴ります。

- 9 音量を調節する

受信チャイムの本体側面、「音量調節ボタン」[▲](大)・[▼](小)でお好みの音量を5段階から選びます。

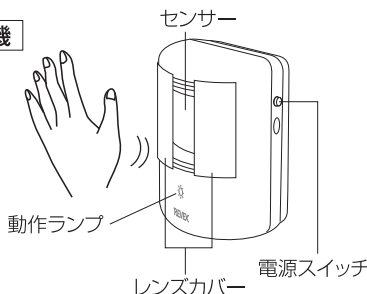
受信チャイム・本体側面



- 9 動作確認をします。

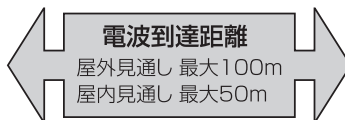
- 1 人感センサー送信機の本体側面、「電源スイッチ」を押すと、本体正面の「動作ランプ」が約15秒点滅します。
※点滅が終了してもセンサーが安定するまで数分かかる場合がありますので、しばらく待ってから2へおすすみください。
- 2 人感センサー送信機の本体正面、「センサー」に向かって手をかざすと「動作ランプ」が赤く光り送信します。
※人感センサーは1度反応すると次の反応まで約5秒程度かかります。
- 3 受信チャイムから、8で選曲した音が鳴り、「動作ランプ」が赤く点滅して受信したことをお知らせします。
- 4 人感センサー送信機の本体正面、「レンズカバー」でセンサー感知範囲の左右方向の幅を約20°~約100°に調整することができます。
- 5 人感センサー送信機の「壁面取付マウント」でセンサーの感知方向を調整することができます。
※4~5についての詳細は4ページ、「5.センサーについて」をお読みください。

人感センサー送信機

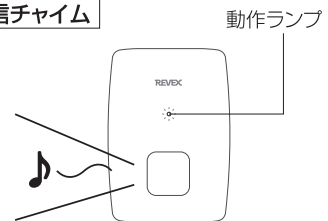


電波送信

電波受信



受信チャイム



- 10 電池切れについて。

人感センサー送信機の電池切れ表示は、センサーが反応した時から「動作ランプ」が赤く点滅し続けますので、新しい単4形アルカリ乾電池に3本とも交換してください。受信チャイムの電池切れ表示はありません。動作ランプ表示や音が正常に動作しなくなりましたら、新しい単3形アルカリ乾電池に3本とも交換してください。

ご注意

- 1 送信機の電池切れは電池切れ表示でお知らせしますが、長期間使用しない場合は定期的に動作確認することをおすすめします。
- 2 電池が電池切れ表示をする残量より下がると、表示や音が正常に動作しなくなりますので電池を交換してください。
- 3 電池寿命は使用環境や設定した曲の長さにより変わります。

4.取付け方法

※電池を入れて動作確認が終わってから取り付けてください。

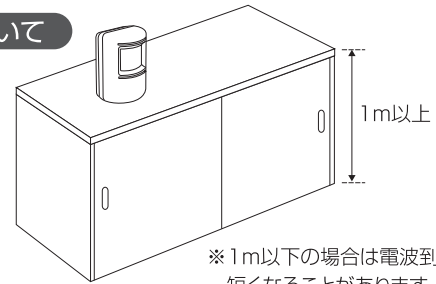
※取り付けようとしている場所で正常に動作するかを確認してから取り付けてください。

ご注意 人感センサー送信機を取り付ける際、「5.センサーについて」のご注意をよく読んで、設置してください。

■人感センサー送信機

※防塵形・防噴流形(IP44相当)なので屋外の軒下にも取り付けできます。ただし、雨や水のたまる場所では置いて使用できません。

台などに置いて



※1m以下の場合は電波到達距離が短くなる可能性があります。

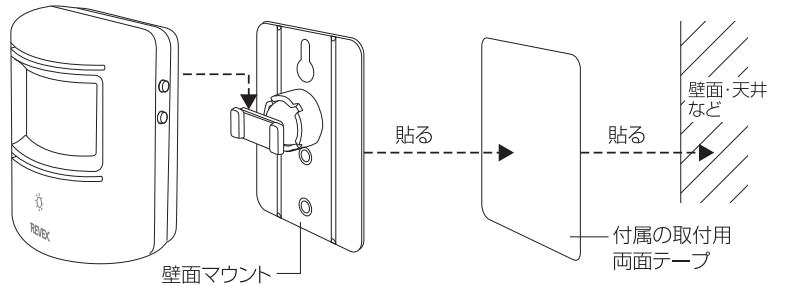
柱・天井・壁・ドアなどに両面テープで貼り付ける場合

① 設置したい場所に、付属の「取付用両面テープ」を「壁面マウント」に貼り、貼り付ける面のホコリや汚れなどをきれいに拭いて固定します。

ご注意 ゴラザラな面や凹凸のある面には貼り付けできません。

※貼り直す場合や設置場所を変える際は、必ず新しい両面テープを使用してください。両面テープは取付場所に合った市販品をお求めください。

② 本体を「壁面マウント」に差し込み取り付けます。

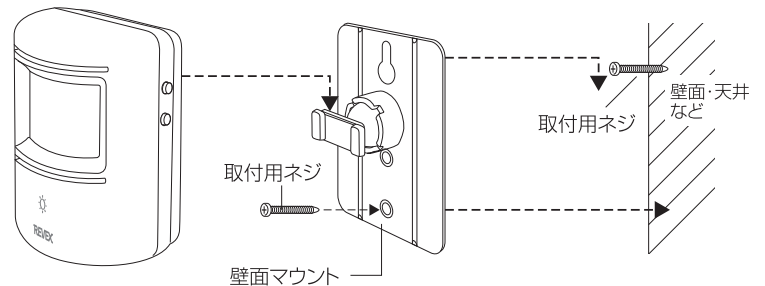


柱・天井・壁・ドアなどにネジで取り付ける場合

① 「壁面マウント」の「取付ネジ穴」に付属の取付用ネジで固定します。

※サイディングやコンクリート面に取り付ける場合は下穴を開け、市販の樹脂リブを打ち込み、付属の「取付ネジ」をねじ込みます。

② 本体を「壁面マウント」に差し込み取り付けます。

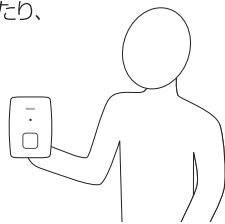


■受信チャイム

※防水仕様ではありませんので、屋内または雨や水がかからない場所でご使用ください。

持ち歩いて

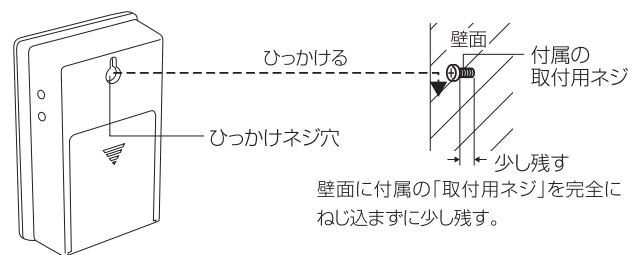
●電池式ですので置く場所を変えたり、持ち歩くこともできます。



壁面などに

●設置したい壁面に付属の「取付用ネジ」の頭を少し残した状態でねじ込み、「ひっかけネジ穴」にひっかけます。
※サイディングやコンクリート面に取り付ける場合は下穴を開け、市販の樹脂リブを打ち込み、付属の「取付ネジ」をねじ込みます。

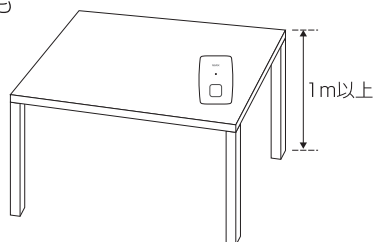
受信チャイム・本体背面



壁面に付属の「取付用ネジ」を完全にねじ込まずに少し残す。

台やテーブルに置いて

●台やテーブルに置くだけでも使用できます。



ご注意 金属製の台や机、床などに置くと電波到達距離が短くなります。

ご注意 金属面や金属製品の近くに取り付けると電波到達距離が短くなります。

取り付けの際のご注意

- ① 取り付け位置はなるべく床面から1m以上の高さに設置してください。1m以下の場合には電波到達距離が短くなる場合があります。
- ② 受信機は雨や水に濡れる場所では使用できません。
- ③ しっかりと固定してください、落下等でケガや破損の原因になります。落下による故障は保証期間内であっても対象外となります。
- ④ 塗装面やクロス面等に取り付ける場合、塗装のはがれやクロスの破れ等に充分ご注意ください。
- ⑤ 石こうボードには取り付けられない場合があります。
- ⑥ 本機の取り付けや取り外しの際に生じたクロスのはがれや両面テープの汚れなどにつきましては、当社は一切の責任を負いませんので予めご了承ください。

5. センサーについて

■ センサーは赤外線センサーです。感知エリア内の温度変化を感知して動作します。感知エリア内で熱（赤外線）を発生する物体（人や動物）が移動することによって作動します。

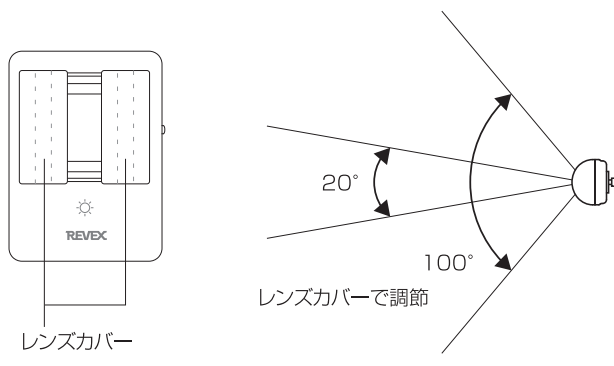
ご注意

- ① 赤外線の動きを感知するため、動物（犬や猫）等にも感知する場合があります。
- ② 感知エリア内でも、人が全く動かない場合は感知しない場合があります。
- ③ 気温と人の体温が近い場合やゆっくりした移動時は感知しにくい場合があります。
- ④ センサーに向かって正面より近づく場合は感知距離が短くなる場合があります。
- ⑤ 屋外使用時に、太陽光による熱線の動きで感知する場合があります。
- ⑥ 車の動きや排ガス、エアコンの室外機、動物や草木の動きでも感知する場合があります。
- ⑦ ガラス越しにはセンサーは反応しません。
- ⑧ 猛暑日には感度が悪くなる場合があります。

■ センサー感知範囲の調整

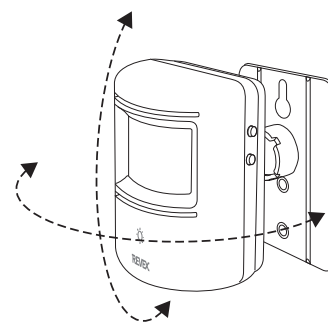
左右方向 約20°～約100° ※高さ1.5mに設置した場合

付属のレンズカバー（45°×2枚）を使用して、感知範囲を狭め誤動作を防ぐことができます。センサー上下の溝にはめ込み使用してください。レンズカバーはカッターナイフで3等分にカットすることができます。目的の感知範囲に合わせて調節してください。

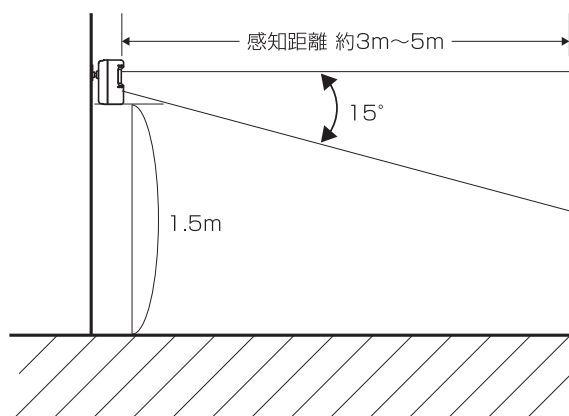


感知方向の調整

センサーの感知方向の調整ができます。



上下方向 約15° ※高さ1.5mに設置した場合



ご注意

- ① 人感センサーの感知範囲と感知距離は本体を取り付ける高さにより変わります。
低く設置した場合、感知範囲は狭くなり感知距離は短くなります。
高く設置した場合、感知範囲は広くなり感知距離は長くなります。
- ② センサーの感知距離は季節により（外気温の変化により）変わります。人感センサー送信機本体の取り付けの向きや高さ、位置を変えてください。

安全に関して及び保証規定につきましては、パッケージ中折面をお読みください。